



スクールライフ

平成 23 年 6 月 6 日
内灘中学校長 溝口牧彦
生徒指導部

全校集会より

学校長 溝口 牧彦

5月25日に河北郡市の陸上競技大会が行われました。本校の陸上部員も自己記録の更新を目指し、全力で頑張ってくれました。また、今週の土曜日には、加賀地区大会を見事勝ち上がった野球部の県の選抜大会が行われます。石川県No.1をめざしチーム一丸となって活躍してくれることを期待しています。さらに6月18日からは、いよいよ加賀地区大会兼県体予選会が始まります。陸上部や野球部に負けないよう、どの部もチーム力で活躍・健闘してくれることを願っています。皆さんが部活動に一生懸命頑張っている姿に、内灘中学校の活力と躍動する力を感じとることができます。

今、皆さんは体育館に座っています。頭の上には何があるでしょうか。体育館の天井があります。家にも天井があります。しかし、先生は「部活動には天井はない」と思っています。陸上や水泳の好記録はもう破られることがないだろうと思っても、記録は破られどんどん向上していきます。どの競技でも音楽の分野においても技術や能力はどんどん進歩しています。「部活動には天井はない」だからこそ人は目標に向かって、あきらめず一生懸命努力できるのだと思います。「これ以上うまくならないだろう」「もう限界だからやっても無理だ」と考えている人は、自分で自分の天井を作っている人です。そうではありません、皆さんにはこれから大きく成長し、伸びていく素晴らしい可能性を秘めた力があります。

「努力に無駄はない」という言葉があります。努力したことは必ず自分の心や体、そして考え方や生き方に必ずプラスになっていくということです。また、「努力する人は希望を語り、怠ける人は不満を語る」という言葉があります。努力を積み重ねる人は希望や夢をつかみ、次への新たなステップに臨むことができます。反対に努力をしない人は、周りの人たちに不平・不満をばかりを語り、自分自身を高め伸ばすことができないということです。

学校生活においても、勉強をおろそかにする、きまりを守らない、いじめなどやってはいけない行動をするなど、いい加減なことをしてごまかす人がいます。そういう人は必ずと言っていいほど、いざという大事な試合や場面で必ずミスをしたり、失敗をすることが多い人です。学校生活を大切にしない人は、大事なチャンスの場面で力を発揮できず、また周りの人たちからの信頼を得ることができません。「ごまかせば、自分が損をする」という言葉があることを知って下さい。

目標を持って頑張っている部活動です。自分に厳しく、自分を信じて、最後まであきらめず努力する人間になってほしいと願っています。

皆さんの大会での活躍を期待しています。



